

Autophagy controls both amyloid β and tau metabolism in Alzheimer's



Per Nilsson, Ph.D.

Vice/Acting Head of Division of Neurogeriatrics
Karolinska Institutet | Center for Alzheimer Research
Dept of Neurobiology, Care Sciences and Society
Division of Neurogeriatrics

日時：2025年6月5日（木）午後2時30分-3時30分

場所：東京大学薬学部 大学院講義室

Nilsson 先生はウプサラ大学で博士号を取得され、カロリンスカ研究所 Bengt Winblad 研究室にてポスドクをされた後、理化学研究所にて西道隆臣チームにおいて Research Scientist としてアルツハイマー病態におけるオートファジーの病的機能の解明や、新規アルツハイマー病モデルマウスの作出と解析、などを手掛けてこられました。その後、カロリンスカ研究所において独立し、Division of Neurogeriatrics の PI としてご活躍されています。特にオートファジーによるアルツハイマー病原因分子アミロイド β やタウの代謝に関わる研究を精力的に進められており、今回はその研究内容を中心にご発表いただきます。大学院生だけでなく、PI・若手研究者の方々の多数のご参集をお待ちしております。

Mayer et al., *Traffic* 25(4): e12934 (2024)

Naia et al., *Mol Psychiatry* 28(9):3966-3981 (2023)

Jiang et al., *Acta Neuropathol Commun.* 10(1):96 (2022)

Nilsson et al., *Am J Pathol.* 185(2):305-13 (2015)

Nilsson et al., *Cell Rep.* 5(1):61-69 (2013)

Contacts

東京大学大学院薬学系研究科機能病態学教室 富田泰輔

tel: 03-5841-4868 e-mail: taisuke@mol.f.u-tokyo.ac.jp